

令和3年度
調査・研究に関する自己点検評価報告書

令和4年4月
静岡県立美術館

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年4月1日	
職・氏名	学芸課長 石上充代
●専門分野	近世・近代の日本画
●所属学会	美術史学会
●主要研究テーマ	近代日本画
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・研究ノート「木村武山《羽衣》における天女の図像について」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第143号、2021年10月1日) 	
小計1本	
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「ストーリーズ～作品について学芸員が知っていること」(4月6日～5月16日) 副担当 ・同展 美術講座 1回 ・企画展「忘れられた江戸絵画史の本流」(5月22日～6月27日) 副担当 ・移動美術展「静岡県立美術館超名品展 風景と人間」(11月13日～12月19日) 副担当 	
小計4本	
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくに芸術祭 企画委員会委員、美術部門美術展審査員 ・ふじのくに子ども芸術大学実行委員会委員 	
小計2本	
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
<ul style="list-style-type: none"> ・研究ノート「木村武山《羽衣》における天女の図像について」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』No.143、2021年10月1日) 	
小計(1)本	
合計7本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年3月30日	
職・氏名	上席学芸員 南 美幸
●専門分野	美学・美術史
●所属学会	美術史学会、日仏美術学会
●主要研究テーマ	西洋美術史
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
・論文「マルキ・ド・サド『イタリア紀行』ナポリ篇について 2—絵画館の翻訳と解題」(『静岡県立美術館紀要』第37号、2022年3月31日)	
	小計1本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
・企画展「古代エジプト展」(7月10日～9月5日) 副担当	
・移動美術展「静岡県立美術館超名品展 風景と人間」(11月13日～12月19日) 副担当	
	小計2本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
・静岡文化芸術大学「美術史(西洋)Ⅱ 特別講義」講師	
	小計1本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
	小計()本
合計4本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年4月7日	
職・氏名	上席学芸員 新田建史
●専門分野	美学美術史
●所属学会	地中海学会、保存修復学会
●主要研究テーマ	西洋16～18世紀美術、東西美術交流史、東西版画史、文化財保存
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
小計0本	
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「古代エジプト展」(7月10日～9月5日) 主担当 ・同展 特別講演会「古代エジプト人の思想と宗教：信仰と世界観」講師：近藤二郎氏 7月10日 ・同展 関連ワークショップ「切り絵でデザイン〇〇神！」 7月25日 ・同展 館長美術講座「古代エジプトの肖像をめぐる話」 8月1日 ・同展 学芸員スライドトーク 8月7日、8月14日 	
小計5本	
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・「博物館の動画制作」静岡県博物館協会講習会、2月22日 ・「二〇二一（令和三）年度の大規模修繕について」（『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第144号、2022年1月1日） 	
小計2本	
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
<ul style="list-style-type: none"> ・「二〇二一（令和三）年度の大規模修繕について」（『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第144号、2022年1月1日） 	
合計（1）本	
合計7本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年4月1日	
職・氏名	上席学芸員 川谷承子
●専門分野	現代美術
●所属学会	
●主要研究テーマ	戦後美術
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
小計0本	
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
展覧会	
<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「ストーリーズ～作品について学芸員が知っていること」(4月6日～5月16日) 主担当 ・新収蔵品展 ・鴻池朋子展(令和4年度開催 準備) 	
普及事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演会 企画・実施 「名品を手に入れる 静岡県立美術館所蔵 草間彌生《無題(No. White A.Z.)》を中心に」講師:石坂泰章氏(サザビーズジャパン 代表取締役会長兼社長)4月11日 ・美術講座「石田徹也の作品は海外でどのように紹介されたか」4月29日 ・清水南高校芸術科出張授業 7月15日、1月13日 	
小計6本	
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・購入・寄贈作品の受け入れ(購入1点、寄贈6点) ・デジタルアーカイブ スペシャル動画制作担当 	
小計2本	
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルアーカイブ スペシャル動画制作担当 	
小計(1)本	
合計8本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年3月23日	
職・氏名	上席学芸員 村上 敬
●専門分野	日本近代美術
●所属学会	美学会、美術史学会、明治美術学会、文化資源学会
●主要研究テーマ	日本近代洋画、工芸・デザイン
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	小計0本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業 ・収蔵品展「構図を巡って」(6月29日～9月5日) 担当	小計1本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動 ・静岡市立芹沢銈介美術館協議会委員	小計1本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	小計()本
合計2本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年4月6日	
職・氏名	上席学芸員 泰井 良
●専門分野	日本近代洋画
●所属学会	明治美術学会、日本文化政策学会
●主要研究テーマ	明治時代から昭和戦前期までの近代洋画
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	小計0本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業 ・美術講座「和田英作と曾宮一念 二つの絶筆」5月2日	小計1本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	小計0本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	小計()本
合計1本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年4月7日	
職・氏名	上席学芸員 植松 篤
●専門分野	現代美術
●所属学会	美学会、広島芸術学会
●主要研究テーマ	戦後美術
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学术论文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
・研究ノート「白髪一雄《屋島》について」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第142号、2021年7月1日)	
	小計1本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
・移動美術展「静岡県立美術館超名品展 風景と人間」(11月13日～12月19日) 主担当	
・同展 館長講演会	
・企画展「古代エジプト展」(7月10日～9月5日) 副担当	
・同展 特別講演会副担当	
・同展 館長美術講座副担当	
	小計5本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
・静岡文化芸術大学公開講座シンポジウム「ミュージアムは誰とつながるのかー過去・現在・未来ーコレクションの地域社会における意義を考えるー」(静岡文化芸術大学、11月14日)[移動美術展連携イベント]	
	小計1本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
・研究ノート「白髪一雄《屋島について》」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第142号、2021年7月1日)	
	小計(1)本
合計7本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年4月6日	
職・氏名	上席学芸員 野田麻美
●専門分野	日本近世絵画
●所属学会	美術史学会
●主要研究テーマ	狩野派を中心とする桃山末～江戸時代の絵画
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
・研究ノート「真贋論の行方—添帖のこと」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第141号、2021年4月1日)	
・「巨大組織・江戸狩野派の250年—奥絵師と表絵師に関する諸問題」(『忘れられた江戸絵画史の本流：江戸狩野派の250年』図録 静岡県立美術館、2021年5月18日)	
・「江戸狩野派による模本と倣古図に関する一考察—狩野常信・栄信・養信ほか「唐絵手鑑」の分析を中心に」(『江戸狩野派の古典学習：その基盤と広がり』図録 静岡県立美術館、2021年5月18日)	
・「狩野探信守道・狩野探淵守真ほか『摹宋元画冊頁』(ボストン美術館)について」(『美術史論叢』38号 東京大学美術史学研究室、2022年3月31日)	
・「江戸時代〈庭園画史〉序説—江戸・関西画壇における庭園画様式の成立と展開」(『近世庭園の研究』奈良文化財研究所、2022年3月31日)	
小計5本	
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
・企画展「忘れられた江戸絵画史の本流：江戸狩野派の250年」(5月22日～6月27日) 主担当	
・特別展示「江戸狩野派の古典学習：その基盤と広がり」(5月18日～6月27日) 主担当	
・両展共通 フロアレクチャー 5月29日、6月26日	
・両展共通 美術講座 6月13日	
小計5本	
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
・広島市立大学 芸術学研究Ⅰ・Ⅱ 4コマ(非常勤講師)(10月28・29日)	
・広島市立大学 芸術理論 1コマ(非常勤講師)(10月29日)	
小計2本	
4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
・「江戸狩野派による模本と倣古図に関する一考察—狩野常信・栄信・養信ほか「唐絵手鑑」の分析を中心に」(『江戸狩野派の古典学習：その基盤と広がり』図録 静岡県立美術館、2021年5月18日)	
・「江戸時代〈庭園画史〉序説—江戸・関西画壇における庭園画様式の成立と展開」(『近世庭園の研究』奈良文化財研究所、2022年3月31日)	
小計(2)本	
合計12本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年4月4日	
職・氏名	主任学芸員 貴家映子
●専門分野	西洋美術史
●所属学会	日仏美術学会
●主要研究テーマ	フランス近代美術、風景画
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
・オンライン口頭発表「東海圏の美術館におけるボナール作品—その多様性と研究の可能性について」 (シンポジウム「日本の美術館とナビ派—地方美術館から考える研究の可能性」主催：一橋大学大学院言語社会研究科、2021年12月13日)	
	小計1本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
・企画展「大展示室展」(令和4年度開催 準備) 副担当 ・出張美術講座 1回	
	小計2本
5. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
・「博物館の動画制作」静岡県博物館協会講習会、2月22日	
	小計1本
6. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
	小計()本
合計4本	

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和4年4月6日	
職・氏名	主任学芸員 浦澤倫太郎
●専門分野	日本画
●所属学会	美術史学会
●主要研究テーマ	近世絵画
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
・研究ノート「温泉と絶景―熱海本陣・今井半太夫家と画家たちの交遊―」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第144号、2022年1月1日)	
・論文「原在正《富士山図巻》の再検討―描かれた風景の虚実―」(『静岡県立美術館紀要』第37号、2022年3月31日)	
	小計2本
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
・出張講座(静岡市立富上見小学校、12月1日)	
	小計1本
7. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
・講義「小杉文庫について」(静岡大学講義「地域の人と文字文化」全2回、7月5日、12日)	
	小計2本
8. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】	
・研究ノート「温泉と絶景―熱海本陣・今井半太夫家と画家たちの交遊―」(『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第144号、2022年1月1日)	
	小計(1)本
合計5本	